

# 水辺の話題

## ドイツにおける自然に適合した河川工法講演会開催

当センターの主催で、「ドイツにおける自然に適合した河川工法講演会」を去る6月12日に東京グリーンパレスで、6月16日に大阪プリムローズで開催しました。

この講演会は、ドイツのパーテンヴェルテンベルク州環境省河川工事ハンドブック第5巻「自然に適合した工法 - 河岸及び川岸斜面の保護」を当センター監修で翻訳発行することに併せて、同州政府で実務に携わられているジュートリッヒャーオーバーライン/ホッポライン水資源管理事務所長ゲルト・クライバー氏をお招きして、ドイツにおける自然に適合した河川工法についてご講演をいただいたものです。

講演は、2部構成で、1部は、同州において自然に適合した工法を行うに至った経緯、計画設計にあたっての基本的な考え方などについて、OHPを使いながらの講演をいただき、2部は、100枚に及ぶ現場のスライドを使って実例をご紹介いただきました。

ドイツにおいては、150年前に始まったライン川の大改修の後、下流部で頻繁に氾濫がおこるようになり、上流部での氾濫原の確保が急務となったこと、また、環境に対する感心が高まったことが契機となって、自然に適合した河川工法が実施されるようになったとのことでした。

興味深いのは、自然に任せて何もしない「ゼロ工法」を基本に考えるという点でした。すべての場所で、自然のなすがままにするのは不可能であっても、基本を「ゼロ工法」として、そこから、考え始めるとのことでした。

また、講演の後には、両会場とも1時間にも及ぶ質疑応答が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。

今回の講演のあったドイツにおける自然に適合した河川工法が、今後の日本における多自然型川づくりの発展に寄与し、ドイツで日本の事例を紹介できるようになればと思います。



講演中のゲルト・クライバー氏

## 「世界河川会議」開催の案内

今年11月19日、20日の2日間にわたり岐阜市において「世界河川会議」が開催されます。この会議開催にあたり、(財)リバーフロント整備センターでは実行委員会のお手伝いをするようになりましたので、会議の概要を以下に紹介します。

### 1. 会議概要

会議名称：世界河川会議

会議テーマ：長良川から世界へ...人と川の共生をめざして

開催年月日：1997年11月19日～20日

開催場所：長良川国際会議場（岐阜市）

参加対象：一般、専門家

参加登録料：無料ただし事前登録が必要（会議テキストおよび交流会は有料）

### 2. プログラム

11月19日（水）

午前：・開会宣言・オリエンテーション

午後：研究発表（2セッション同時開催）

・セッション 「川と豊かな流域文化の形成」

・セッション 「河川における自然環境の回復と保全」

・交流会（希望者のみ、有料）

11月20日（木）

午前：研究発表

・セッション 「流域の持続的発展のための河川の管理」

午後：オープンフォーラム

・カントリーレポート

・全体討議

・宣言採択

・閉会式

ポスターセッション（国際会議場内に展示）

### 3. 運営組織

主催：世界河川会議実行委員会（岐阜県、愛知県、三重県）

後援：建設省、外務省他

協賛：(社)中部経済連合会、全国建設弘済協議会他

事務局/問い合わせ先：世界河川会議実行委員会事務局

住所：岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

岐阜県土木部河川課気付

TEL：058-264-1261 FAX：058-264-1831

E-mail：S11652@govt.pref.gifu.jp